

昭芝製作所

中国で車部品を増産

年内、2倍の20万個体制

金属プレス業の昭芝製作所（東京・練馬、三原佑介社長）は中国で自動車エアバッグ部品を増産する。現在は広東省の工場で月産10万個を生産しているが、5月から江蘇省の新工場稼働。約1億5千万円を投じて設備を増強し、年内に月産20万個体制とする。中国の自動車市場の拡大に対応する。

エアバッグ部品はすべて日系の自動車関連メーカー向け。同工場では金属部品の生産と、溶接による組み立てを手掛け、現地の外注先でメッキを施した後に顧客企業に納入する。

新工場稼働時点での生産量は月3万個程度。年内にプレス機や組み立てラインを増設し、月産10万個体制にする。

昭芝製作所の2009年12月期の売上高は国内向けが約32億円で、中国向けは約10億円。生産量の引き上げで中国向け売上高を早期に20億円に引き上げる。